

多様性の時代、個性を生かして前進を！

一般社団法人明専会 会長 高原 正雄（機43）



一般社団法人明専会を代表して、

皆さんのご卒業を心よりお祝い申し上げます。また、皆さんを永きに亘って見守り薫陶されて来られたご両親などに於かれましては、この日のお慶びはひとしおのことと拝察申し上げます。本当にありがとうございます。

卒業生の皆さんは、3年以上前に始まった新型コロナウイルスのせいで、大学生活の中で最も大切な学問や課外活動での先生や学友と密着し、群れ合いながら切磋琢磨する機会が奪われたと思います。その反面、文明の利器を活用され、別な形でコミュニケーションを取ることができたと思えます。いずれにしても、永きに亘

る学業生活を終えて、いよいよ新しい道に進むこととなりますが、これまで培った高度な知識や見識を身に携え、大志を抱いて社会に大きな一歩を踏み出していきたいと思います。皆さんの先輩の一人として、三つのお話をして祝辞にしたいと思います。

一つ目は、名門明専の九州工業大学の卒業生であることを自身の誇りにして、グローバル・コンピテンシーを有したプロフェッショナル・エンジニアを目指して欲しいと思います。今から14年前の1909年に安川敬一郎翁と山川健次郎先生は、崇高な理念を掲げて本学の前身である明治専門学校を創立しました。厳しい教育の下で切磋琢磨、勉学に励んで卒業した「技術に堪能なる士君子」は6万余名を数えます。その先達の中には官・学・産の分野で世のため人のために多大なる貢献をされ、大きな足跡を残された方が多くおら

れました。皆さんもプロフェッショナル・エンジニアとして先達の功績を超えるような大志を持ち続けていただきたいと思います。

二つ目は、明専の絆が皆さんの人生において大きな影響を与えるものであるということをお忘れずに思い出したいと思います。今や多様性の時代です。老・壮・青・男・女に関わらず、それぞれの特性を生かしながら、明専の絆の輪を広げていただきたい、その結果、明専会の定款にあるように『同窓の友情を保ち、親睦を厚くして、相互の連絡を計り、後進の誘掖に努める』ことにより、各々が一層高いポジションに昇りつめていただきたいと希望します。皆さんが所属する明専会は、全国に45支部16分会を有し、加えて、北京・タイ・ベトナムなどに海外明専校友会を有する大きな団体であります。皆さんが卒業後、全国のどこに行っても、あるいは海外に行かれても、そこには同窓生が居り、明専会の支部があるということです。これは、皆さんにとっては大きな財産であります。卒業後は明専会の会員として、先輩・同輩・後輩との強い絆の

中で大いなる活躍をされてください。三つ目は、卒業後も日々勉学・研究を怠らないようにして、自分の能力を常に最高の位置に高め続けることに努めてください。そして、特に大切なことは、自分の頭で課題が何かを考えること、すなわち、この課題発見能力こそが世のため、人のために大きく貢献するものであります。以上、三つの相乗効果は計り知れないものがあります。世の中に偉大な足跡を残された皆さんの先達は、この三つを常実践され『明専』の名を世に高めて来られました。そして、ことある度に、熱い母校愛と強い同窓の絆で明専会に集い、惜しみなく母校を支援してきました。

最後に、今まで育てていただいたご両親やご家族のご恩に対しては、気持ちだけではなく、形あるものでしっかりと表現することが大切です。例えば、初任給の全額は、まずはお母様に差し上げることが、一番分かり易い恩返しだと思います。こういった恩返し風習が九州工業大学の卒業生の伝統になり、世の中に知れ渡るようになることを希望しています。

（いすゞ自動車(株)理事）